

丹波地域 環境パートナーシップ会議

情報誌



シャクナゲ
ツツジ目ツツジ科

2～3 ページ

丹波地域の希少種紹介

- 【植物】・シロシャクジョウ
・セツブンソウ
- 【動物】・オオサンショウウオ

4～6 ページ

活動報告

- ・青垣いきものふれあいの里
友の会
- ・住友ゴム工業株式会社
市島工場
- ・丹波篠山市教育委員会

7 ページ

その他

- ・丹波県民局の特定外来生物対策
- ・国際シンポジウム開催報告
令和8年1月30日

8 ページ

表彰関係

- ・兵庫県功労者表彰受賞
妙高山のクリンソウを守る会
会長 細見 武憲 氏



ノコギリクワガタ
クワガタ目クワガタムシ科

シロシャクジョウ (ヒナノシャクジョウ科)

シロシャクジョウは、本州中部から南部の湿った樹下に生える高さ10cm程度の腐生植物で、光合成をせず共生する菌類から栄養を吸収する特殊な生態を持ちます。

兵庫県版レッドリストではAランクに指定されており、県内では、1941年に丹波市で採集された標本が残されていただけで、平成4年10月発行の「丹波草木誌」には氷上『ごく稀、絶滅か』との記述もありました。

ところが、2010年に「丹波自然友の会」会員によって丹波市内で約70年ぶりに再発見され、さらに2011年には前年の発見地に加え、別の会員が丹波市内でもう1カ所の生息地を発見しました。

兵庫県立人と自然の博物館の協力を得て文献・標本等に当たった結果、県下では、1941年の標本採集地も含めて、全て丹波市内で発見されており、南方系の本種の分布域としては北限に近く、学術的にも貴重です。



セツブンソウ (キンポウゲ科)

セツブンソウは、節分の頃に咲くことからその名が付けられ、春を告げる花としても知られています。透明感のある白い姿をあらわし、雑木林や山野で見ることができ、自生種の開花は、節分より少し遅く3月上旬頃が見頃です。

特殊な環境でのみ生育する上、自生地の環境破壊などの影響で希少な植物となっており、環境省のレッドリストでは準絶滅危惧に指定され、また兵庫県では絶滅危惧Cランクに位置づけられています。

セツブンソウの自生地として、丹波市青垣町の群生地が知られています。

オオサンショウウオ (オオサンショウウオ科)

日本固有種であり、世界最大の両生類で、環境省レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類に指定されている他、国の特別天然記念物にも指定されています。

一般的に標高400～1000mの谷川に棲むといわれていますが、標高の低い平野部の水田などで見つかった例もあります。

主に、岐阜県より西の近畿地方、中国地方に多く見られ、四国や九州の一部でも生息しており、兵庫県内では円山川水系や市川水系での生息が多数確認されている他、加古川水系や武庫川水系でも確認されています。

丹波地域も貴重な生息地となっており、2012年に丹波篠山市後川で子ども達によって発見されたほか、丹波市青垣町内でも発見されています。



青垣いきものふれあいの里 友の会

平成7年（1995年）4月に青垣町立（現丹波市）青垣いきものふれあいの里がオープンしたのを機に数人で友の会を結成しました。いわば施設事業に参加することで施設を応援しようというものでちょうど昨年で30年を迎えました。

もちろん、施設は自然とのかかわりについて考える施設であり、自然体験や環境学習の場としてその機会を与えてくれる施設でもあります。私たちはこのことを共有して活動を進めてきています。

友の会が30年を経た今、会員も約25名に増え、自然観察に出かけることも恒例となり折々に出かけて楽しんでいます。また施設との関わりは事業参加をはじめ、つるかごサークルを組織し会員を募り実習の成果を展示会に出品したり、河原探検学習には子ども達の安全面のサポートも行います。また、施設内展示物のコブナグサやヤシャブシなどで染めた生糸の草木染めの「染め直しも」行うこともあります。このように私たちの会は「青垣いきものふれあいの里」と共に活動しています。



自然観察会



昆虫の観察会



はなかごサークル活動



生糸の草木染め

住友ゴム工業株式会社 市島工場

1996年に丹波市市島町で操業開始以来、地域に貢献し、親しまれる工場としての活動を継続して進めており、生物多様性を重視した活動として、構内緑地の混合林（雑木林）から混交林に作り替える整備や丹波地域の絶滅危惧種の保護・育成活動を進めてきました。

特に、『丹波の森公苑』と協力したオオムラサキ生育事業をはじめ、丹波市内に生息するホトケドジョウの保護活動などに積極的に取り組んでおり、今後も地域に根差した活動を中心に進めてまいります。

オオムラサキ生育活動

2007年から続くプロジェクトで、『丹波の森公苑』より譲り受けたエノキの実生を食樹に育てる事から始め、2011年からは幼虫を寄贈いただき、現在まで多くの蝶の羽化に成功しています。毎年、近隣こども園を招待して見学会を開催し、喜んで頂いています。



ホトケドジョウ保護活動

丹波市内に貴重な生き物であるホトケドジョウが生息していることを知り、2015年に社員手作りで完成させた構内のビオトープにおいて、『丹波地域のホトケドジョウを守る会』との協働で、ホトケドジョウの個体保護・生育事業を開始しました。また、2016年から定期調査に参加し、生息地環境保全にも継続して取り組んでいます。



表彰歴

- 2016年 緑化優良工場等経済産業大臣表彰
- 2017年 環境にやさしい事業者賞
- 2022年 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰「全国みどりの工場大賞最高位」



丹波市篠山市教育委員会

丹波篠山市教育委員会では、環境に対する豊かな感受性や探究心、思考力・判断力、そして環境を守るために行動する力を育てるとともに、ふるさとへの愛着や誇りを持つ子どもたちを育てるため、「ふるさと教育」の充実に取り組んでいます。

市内小学校において、発達段階に応じて地域の人材や施設を活用し、自然や地域の風土を生かした学習を行っています。また、丹波地域環境パートナーシップ会議の会員の皆様をはじめ、自然を大切にする地域住民の皆様と連携しながら、学習や体験活動を進めています。

子どもたちは直接体験を通して学び、地域の資源を生かした特色ある学習を行っています。例えば、篠山小学校では「オオムラサキの観察」、多紀小学校では「川の生き物観察」、今田小学校では「サギソウの球根植え」、城東小学校では「オオサンショウウオの学習」などです。こうした取組を通して、子どもたちが環境と自分たちの社会や生活との深い関わりに気づくことをめざしています。



篠山小学校「オオムラサキの観察」



多紀小学校「川の生き物観察」



今田小学校「サギソウの球根植え」



城東小学校「オオサンショウウオの学習」

丹波県民局の特定外来生物対策

丹波県民局では、令和7年7月に丹波地域で初めてクビアカツヤカミキリが発見されたことを受け、発見地周辺の広域パトロールの実施、早期発見者に感謝状をお渡しする「WANTED！クビアカツヤカミキリ」事業、県民局長から委嘱を受け、特定外来生物の監視を行っていただく「ボランティア特定外来生物監視員」制度、関係機関との早期連携を図る「兵庫県特定外来生物対策本部 丹波地域部会」を設置しました。

特定外来生物対策は早期発見・早期防除が重要です。
引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



丹波地域部会の様子



国際シンポジウムを開催しました！

令和8年1月30日に丹波の森公苑にて、「ネイチャーポジティブの実現と地域循環に向けてー世界から地方から、異なる視点を一つにー」をテーマに国際シンポジウムを開催しました。ベトナムのホー・ゴック・ソン教授や丹波篠山市にゆかりのある清野未恵子准教授をお招きし、丹波地域でのネイチャーポジティブの実現に向けて議論を行いました。シンポジウムの成果として「ネイチャーポジティブ宣言」を発表しました。



ネイチャーポジティブ宣言



パネルディスカッションの様子

参加人数502名
(会場参加：101名
Web当日視聴者：191名
見逃し配信：210名)

令和7年度

兵庫県功労者表彰(環境功労)

受賞おめでとうございます



妙高山のクリンソウを守る会会長の細見武憲氏が令和7年度兵庫県功労者表彰を受賞されました。

細見氏は、丹波市市島町の妙高山麓で発見された、絶滅が危惧されるクリンソウ群生地保護・保全に長年尽力されてきました。また、多くの方が観察できるよう保護柵の設置や林道の整備などに取り組むとともに、観察会の開催などを通じた普及啓発活動にも力を注がれています。



皆さまからの
ご意見・ご感想
お待ちしております！

編集・発行

丹波地域環境パートナーシップ会議

事務局 兵庫県丹波県民局県民躍動室環境課
〒669-3309 丹波市柏原町柏原688
TEL 0795-73-3877
FAX 0795-72-3013